第六講　文学史❶

〈時代と特徴〉
上代（奈良時代）
中古（平安時代）＝貴族
中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山）＝武士
近世（江戸時代）＝町人（上方→江戸）
近代（明治時代以降）

1　上代（奈良時代）　八世紀

【歴史書】

『古事記』…七一二年成立。**最古の歴史書**。編者＝**太安万侶**（おおのやすまろ）（稗田阿礼（ひえだのあれ）が暗誦していた事柄を、記録したもの）。神話や伝説が多い。**紀伝体**（人物中心に記述）。漢文体。

『日本書紀』…七二〇年成立。※**六国史**（りっこくし）の最初。編者＝**舎人**（とねり）**親王**。元正（げんしょう）天皇の勅命。**編年体**（年代順に記述）。漢文体。

※**六国史**＝六編（左記参照）の正史書の総称。
『日本書紀』『続日本紀（しょくにほんぎ）』『日本後紀』『続日本後紀（しょくにほんこうき）』『日本文徳（もんとく）天皇実録』『日本三代実録』

★『古事記』と『日本書紀』をあわせて「**記紀**」という。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【地誌】

『風土記（ふどき）』…七一三年成立。**常陸（ひたち）・肥前（ひぜん）・播磨（はりま）・豊後（ぶんご）・出雲（いずも）**の五つが現存する。

　『出雲風土記』が完全な形で現存。

【漢詩・和歌】

『懐風藻（かいふうそう）』…七五一年成立。**最古の漢詩集。**編者＝淡海三船（おうみのみふね）。大友皇子（おおとものおうじ）・阿倍仲麻呂（あべのなかまろ）の作品。

『万葉集』…七五九年成立。**最古の和歌集。**編者＝**大伴家持（おおとものやかもち）**。二十巻・約四千五百首。

「表記」＝**万葉仮名**。

「三大部立」＝**挽歌（ばんか）**（死）・**相聞（そうもん）**（愛）・**雑歌（ぞうか）**（それ以外）

＊その他に**東歌（あずまうた）**（東国地方）・**防人歌（さきもりのうた）**（北九州地方）の歌もある。

「歌体」＝短歌（５７５７７）が多い。長歌（５７５７…７７）・旋頭歌（せどうか）（５７７５７７）など。

「歌風」＝四期に分ける。

〈第一期〉	**天皇関係**	**額田王（ぬかたのおおきみ）**・天智天皇（てんじ）
〈第二期〉	**宮廷歌人**	**柿本人麻呂（かきのもとのひとまろ）**・高市黒人（たけちのくろひと）
〈第三期〉	最盛期	**山部赤人（やまべのあかひと）**・**山上憶良（やまのうえのおくら）**（『類聚歌林』〈歌集〉を著した）・**大伴旅人（おおとものたびと）**
〈第四期〉	衰退期	**大伴家持（おおとものやかもち）**（＝『万葉集』を編纂）

『歌経標式』…最古の歌論書。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈演習問題❶〉

問１　「記紀」が書かれた時代はどれか、次の中から選べ。

ア　六世紀　　イ　七世紀　　ウ　八世紀　　エ　九世紀　　オ　十世紀

問２　『風土記』の中で最も著名な、出雲・播磨・常陸国風土記が編述されたのはいつごろか。

ア　六世紀　　イ　七世紀　　ウ　八世紀　　エ　九世紀　　オ　十世紀

問３　古事記・日本書紀についての文学史的説明として、最適なものを選べ。

ア　古事記は紀伝体で書かれ、日本書紀は編年体で書かれており、古事記の方が先に成立している。
イ　古事記は紀伝体で書かれ、日本書紀は編年体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。
ウ　古事記は編年体で書かれ、日本書紀は紀伝体で書かれており、古事記の方が先に成立している。
エ　古事記は編年体で書かれ、日本書紀は紀伝体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。
オ　古事記も日本書紀も編年体で書かれており、日本書紀の方が先に成立している。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　万葉集の編者の名も見られる奈良時代に成立した漢詩集は何か。次の中から最も適当なものを選べ。

ア　類聚歌林　　イ　経国集　　ウ　懐風藻　　エ　日本霊異記　　オ　文鏡秘府論
カ　新撰万葉集　　キ　文華秀麗集　　ク　歌経標式　　ケ　凌雲集　　コ　和漢朗詠集

問５　次の空欄に該当する作品名・人名を正しい漢字で省略せずに答えなさい。

『［ア］』は『古事記』よりやや遅れて、元正天皇の命により［イ］らによって編纂されたものである。以降の日本の正史・六編を六国史と呼びならわしている。

ア＝　　　　イ＝

２　中古（平安時代）①

九世紀初期＝「**国風暗黒時代**」…**遣唐使の派遣**
↓
九世紀終わり〜十世紀＝「唐風文化から**国風文化**へ」…**遣唐使の廃止**、仮名の普及
↓
十世紀終わり〜十一世紀＝「**平安女流文学**」…**藤原氏の摂関政治・宮中の女房**・仮名の普及
↓
十一世紀終わり＝「貴族衰退→**歴史物語の成立期**」…院政開始・**貴族の過去の栄光や批判**

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【漢詩集】

※中国の詩文集**『白氏文集（はくしもんじゅう）』**（**白楽天（はくらくてん）**〈**白居易（はくきょい）**〉）、**『文選（もんぜん）』**（昭明太子）の影響を受ける。

『凌雲集（りょううんしゅう）』（『凌雲新集』）…**最古の勅撰漢詩集**。編者＝小野岑守（おののみねもり）ら。

『文華秀麗集（ぶんかしゅうれいしゅう）』…勅撰漢詩集。編者＝藤原冬嗣（ふゆつぐ）ら。

『経国集（けいこくしゅう）』…勅撰漢詩集。編者＝良岑安世（よしみねのやすよ）ら。

『菅家文草（かんけぶんそう）』…作者＝**菅原道真（すがわらのみちざね）**。

【伝奇物語（つくり物語）】　十世紀

『竹取物語』…**最古の物語文学**。『源氏物語』に**「物語の出（い）で来（き）始（はじ）めの祖（おや）」**とある。
竹取の翁がかぐや姫を見つけて育てる話。
「三部」＝かぐや姫の生い立ち・五人の貴公子の求婚・かぐや姫の昇天

『宇津保物語』…〈前半〉「うつほ＝洞穴」に住む仲忠が琴を母から伝承。
〈後半〉貴宮に求婚。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『落窪物語』…**継子いじめ物語**。**落窪の姫君**が**継母**からいじめられるが、**右近の少将**〈**道頼**〉と結婚して幸せになり報復する。
姫君の侍女＝**阿漕**（あこぎ）。少将の付き人＝**帯刀**（たちわき）。

【歌物語】　十世紀

『伊勢物語』…**「昔、男ありけり」**で始まる。**男**＝**在原業平**（ありわらのなりひら）〈**在五中将**（ざいごちゅうじょう）〉とされている。別名**『在五が物語』『在五中将日記』**ともいう。「初冠」（ういこうぶり）から「辞世の歌」までの全一二五段から成る、業平の一代記である。最も多いのは恋愛談。
「みやび」の理念が貫かれていることから**「みやびの文学」**とも呼ばれる。

＊東下り〈九段〉
三河の八橋「から衣きつつなれにしつましあればはるばるきぬる旅をしぞ思ふ」→駿河「駿河なる宇津の山べのうつつにも夢にも人にあはぬなりけり」→富士「時知らぬ山は富士の嶺（ね）いつとてか鹿（か）の子まだらに雪のふるらん」→武蔵と下総の間の隅田河「名にし負はばいざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと」

『大和物語』…全一七三段。和歌を中心に独立した話で構成。「**姨捨山**（おばすてやま）」が有名。
〈前半〉有名歌人の恋愛話。〈後半〉説話のような内容。

『平中物語』（へいちゅう）…『伊勢物語』の影響を受ける。好色の**平貞文**（たいらのさだふみ）が主人公。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【物語】

『源氏物語』…一〇〇四〜一〇一二年成立（**一〇〇〇年頃と覚えておく**）。

作者＝**紫式部**（**一条天皇の中宮彰子に仕えた女房**）。全五四帖。最後の十帖＝**『宇治十帖』**。

物語文学史上、最高傑作とされている。

「三部」＝第一部　光源氏の誕生〜青年期〈「桐壺」・「夕顔」・「須磨」・「明石」など〉

第二部　光源氏の晩年〈「柏木」・「夕霧」など〉

第三部　**宇治**で**薫大将**と**匂宮**が**浮舟**という女性を奪い合う。（**宇治十帖**）

〈「匂宮」・「浮舟」など〉

＊**本居宣長**（もとおりのりなが）が**『源氏物語玉の小櫛**（おぐし）**』**で、『源氏物語』を**「もののあはれ」**と説く。

＊仏教の宿世観**「因果応報**（いんがおうほう）**」**が貫かれている。

十世紀ポイント！

〈伝奇物語〉
- **竹取物語**
- **宇津保物語**
- **落窪物語**

〈歌物語〉
- **伊勢物語**
- **大和物語**
- **平中物語**

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『堤（つつみ）中納言物語』…十編（『花桜折る少将』『このついで』**『虫めづる姫君』**『ほどほどの懸想（けそう）』『逢坂越えぬ権中納言』『貝合（かいあわせ）』
『思はぬ方（かた）にとまりする少将』『はなだの女御（にょうご）』**『灰墨（はいずみ）』**『よしなしごと』）から成る**短編物語集**。作者未詳。

『夜の寝覚（夜半（よわ）の寝覚）』…作者＝菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）か？『源氏物語』の影響が強い。
権中納言と寝覚上との悲恋物語。

『浜松中納言物語』…作者＝菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）か？『源氏物語』の影響が強い。
舞台が唐の国にまで及ぶ悲恋物語。**輪廻転生（りんねてんしょう）**の思想が取り入れられている。

『狭衣（さごろも）物語』…恋の苦悩の話。『源氏物語』の「宇治十帖」の影響が強い。

『とりかへばや物語』…男女の兄妹が性別を入れ替えられて育てられる話。

【随筆】一〇〇〇年頃

『枕草子』…**最古の随筆文学**。作者＝**清少納言（一条天皇の中宮定子に仕えた女房**。**「梨壺の五人」**の一人である**清原元輔（きよはらのもとすけ）**の娘）。
「をかしの文学」である。
類聚（るいじゅう）段（ものづくし）・日記段（宮廷生活の回想）・随想段（自然・人事）の三分類。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❷〕

問1　次の中から、『落窪物語』と同じ「作り物語（伝奇物語）」に属するものを全て選べ。

ア　古事記　　イ　竹取物語　　ウ　伊勢物語
エ　大和物語　　オ　うつほ物語　　カ　平家物語

問2　『住吉物語』と同じく継子いじめの物語である作品を、次の中から選べ。

ア　とりかへばや物語　　イ　堤中納言物語　　ウ　落窪物語　　エ　狭衣物語

問3　日本文学史において、『平中物語』とともに歌物語に分類される作品を次からすべて選べ。

ア　平家物語　　イ　大和物語　　ウ　竹取物語　　エ　万葉集　　オ　今昔物語集
カ　宇治拾遺物語　　キ　源氏物語　　ク　古今和歌集　　ケ　伊勢物語　　コ　雨月物語

問4　『大和物語』の成立はいつごろか。次の中から一つ選べ。

ア　奈良時代の終わりごろ　　イ　室町時代の終わりごろ　　ウ　平安時代の中ごろ
エ　鎌倉時代の初めごろ　　オ　江戸時代の中ごろ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　業平の一代記を綴ったといわれる歌物語の作品名には、昔の国名が含まれているが、その国は現在の何県にあるか。次の中から選べ。

イ　滋賀県　　ロ　奈良県　　ハ　兵庫県　　ニ　三重県　　ホ　和歌山県

問6『源氏物語』が成立した時期を、次の中から選べ。

ア　西暦七〇〇年頃　　イ　西暦八〇〇年頃　　ウ　西暦九〇〇年頃
エ　西暦一〇〇〇年頃　　オ　西暦一一〇〇年頃

問7　中宮定子ともっとも関係が深いと思われる文学作品を次の中から選べ。

ア　土佐日記　　イ　伊勢物語　　ウ　枕草子　　エ　源氏物語　　オ　更級日記

問8『伊勢物語』との関係が想定できる箇所を次の中から二つ選べ。

ア　瀬田の唐橋駒もとどろと踏み鳴らし
イ　三河国八橋にもなりぬれば、蜘蛛手にものをとあはれなり
ウ　小夜の中山にかかり給ふにも、また越ゆべしとも覚えねば
エ　宇津の山辺の蔦の道、心細くも打ち越えて

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歴史物語】　**平安時代後期〜鎌倉・南北朝**

『**栄花物語**（**栄華物語**）』…平安後期に成立。**最初の歴史物語**。**編年体**。作者（編者）＝赤染衛門（あかぞめえもん）などか？
藤原道長の栄華を中心に歴史を描く（＝批判精神なし）。

〔四鏡（鏡物）〕

『**大鏡**』…**平安後期**（一一〇〇年頃）成立。**紀伝体**。
藤原道長の栄華中心（**批判精神あり**）。
紫野の**雲林院**（うりんいん）の**菩提講**（ぼだいこう）の前に、**大宅世継**（おおやけのよつぎ）（**一九〇歳**）と**夏山繁樹**（なつやまのしげき）（**一八〇歳**）と**若侍**の三人が会話をして話をすすめていく対話形式。『**世継物語**』ともいう。

『**今鏡**』…**平安末期**成立。**紀伝体**。作者が長谷寺詣での途中で出会った老女との対話形式。『小鏡（こかがみ）』ともいう。

『**水鏡**』…**鎌倉時代**成立。**編年体**。内容は一番古い時代のことが書かれている。
老尼が長谷寺で修行者を通じて葛城山の仙人から話を聞く形式。

『**増鏡**』…**南北朝**成立。**編年体**。嵯峨の清涼寺で老尼が回想談をする形式。史実に忠実。

※〔四鏡〕の「**鏡**」には「**歴史の真実を写す**」という意味がある。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❸〕

問1 『増鏡』と違うジャンルの作品を次の中から選べ。

ア　栄花物語　　イ　大鏡　　ウ　今鏡　　エ　増鏡　　オ　太平記

問2 『今鏡』と同じジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

ア　日本書紀　　イ　吾妻鏡　　ウ　古今著聞集　　エ　平家物語　　オ　栄花物語

問3 『栄花物語』とほぼ同じ頃に成立し、系統も同じで扱った内容もよく似た作品はどれか。次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　増鏡　　ウ　風土記　　エ　宇津保物語　　オ　源氏物語

問4 問題の文章の出典『増鏡』は、文学作品の分類上何に属するか。該当するものを次の中から選べ。

ア　歌論　　イ　随筆　　ウ　説話　　エ　歌物語　　オ　軍記物語　　カ　歴史物語

問5 『大鏡』と同じく紀伝体で書かれた歴史物語を、次の中から選べ。

ア　今鏡　　イ　増鏡　　ウ　栄花物語　　エ　神皇正統記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　歴史物語『大鏡』ともっとも関係の深い人物を、次の中から一つ選べ。

ア　稗田阿礼　イ　清少納言　ウ　藤原道長　エ　鴨長明　オ　藤原定家

問7　次の文は『大鏡』の説明である。空欄［①］～［④］に入る最も適当な語をそれぞれ選べ。

大鏡は［①］時代に［②］体で書かれた［③］物語であり、［③］物語には他に［④］物語がある。

［①］　ア　平安　イ　鎌倉　ウ　南北朝　エ　室町

［②］　ア　擬古文　イ　編年　ウ　紀伝　エ　紀事本末

［③］　ア　伝奇　イ　作り　ウ　歌　エ　歴史

［④］　ア　栄華　イ　源氏　ウ　伊勢　エ　堤中納言

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【勅撰和歌集】

八代集（『古今和歌集』～『新古今和歌集』）

三代集（『古今和歌集』～『拾遺和歌集』）

『古今和歌集』…九〇五年成立。撰者＝**紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑**。
勅命＝**醍醐天皇**（**延喜の聖主**）。「**仮名序**」＝**紀貫之**。「真名序」＝紀淑望。
＊六歌仙＝大伴黒主・在原業平・文屋康秀・僧正遍昭・小野小町・喜撰法師

『後撰和歌集』…九五一年成立。撰者＝**清原元輔**ら「**＊梨壺の五人**」。勅命＝村上天皇。
＊梨壺の五人＝清原元輔・源　順・大中臣能宣・紀時文・坂上望城

『拾遺和歌集』…一〇〇六年頃成立。撰者＝藤原公任？／花山院？　勅命＝花山院。

『後拾遺和歌集』…一〇八六年成立。撰者＝藤原通俊。勅命＝白河天皇。

『金葉和歌集』…一一二七年成立。撰者＝源俊頼。勅命＝白河院。

『詞花和歌集』…一一五一頃成立。撰者＝藤原顕輔。勅命＝崇徳院。

『千載和歌集』…一一八八年成立。撰者＝**藤原俊成**。勅命＝後白河院。**幽玄体**。代表歌人＝俊成・**西行**。

『新古今和歌集』…一二〇五年成立（**鎌倉時代**）。撰者＝**藤原定家**（＝俊成の子。京極中納言）・源通具・藤原有家・
藤原家隆ら。勅命＝**後鳥羽院**。代表歌人＝**西行**・俊成・式子内親王。
技法＝余情・有心・妖艶を追求。**本歌取り**・**体言止め**が多い。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歌謡集・歌論書・私家集（＝個人の歌を集めたもの。別名「家集（いえのしゅう）」）など】

『和漢朗詠集（わかんろうえいしゅう）』…歌謡集。**平安中期**成立。編者＝**藤原公任**（「**三船（さんせん）の才（さい）**」（＝漢詩・和歌・管弦の才能）」の持ち主）。
「和歌」＝**紀貫之**、「漢詩」＝**白居易（はくきょい）**（**白楽天（はくらくてん）**）が多い。

『新撰髄脳（しんせんずいのう）』…歌論書。作者＝**藤原公任**。少し前の『和歌九品（くほん）』（歌論書）も公任の作品。

『俊頼髄脳（としよりずいのう）』…歌論書。作者＝源俊頼。藤原俊成・新古今に影響を与えた。『俊頼口伝』ともいう。

『近代秀歌』…歌論書。作者＝**藤原定家**。歌道の盛衰を述べ、近代歌人六人の秀歌を列挙。

『梁塵秘抄（りょうじんひしょう）』…歌謡集。編者＝**後白河法皇**。「**今様**（７５７５７５７５）」を集めたもの。

『長秋詠藻（ちょうしゅうえいそう）』…**藤原俊成**の家集。幽玄体。

『山家集（さんかしゅう）』…平安時代。**西行の家集**。仏教観・各地を行脚し自然を愛した。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❹〕

問1　『古今和歌集』の撰者として適切な人物を、次の中から選べ。

ア　藤原定家　　イ　大伴家持　　ウ　後鳥羽院　　エ　紀貫之　　オ　西行法師

問2　小野小町と最も近い時期に活躍した歌人を、次の中から選べ。

ア　伊勢　　イ　紀貫之　　ウ　和泉式部　　エ　在原業平

問3　『拾遺和歌集』より古い時代に成立した歌集を一つ選べ。

ア　新古今和歌集　　イ　千載和歌集　　ウ　金槐和歌集　　エ　玉葉和歌集　　オ　後撰和歌集

問4　鳥羽天皇の在位は西暦一一〇七年から一一二三年である。これに最も近い時に成立したとされる勅撰和歌集を、次の中から選べ。

ア　金葉和歌集　　イ　古今和歌集　　ウ　山家集　　エ　玉葉和歌集
オ　後撰和歌集　　カ　拾遺和歌集　　キ　新古今和歌集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　後白河院が撰集（せんじゅう）を命じた『千載和歌集』と同じく、勅撰和歌集に分類される歌集を一つ選べ。

ア　金槐和歌集　　イ　文華秀麗集　　ウ　詞花和歌集　　エ　新撰犬筑波集

問6　次の中から勅撰和歌集ではないものを一つ、選べ。

ア　万葉集　　イ　古今和歌集　　ウ　新古今和歌集　　エ　金葉和歌集

問7　「六歌仙」に数えられない人物を次の中から二人選べ。

ア　在原業平　　イ　凡河内躬恒　　ウ　大伴黒主　　エ　喜撰法師

オ　僧正遍照　　カ　文屋康秀　　キ　和泉式部　　ク　小野小町

問8　『古今和歌集』の編纂にかかわった人物を、次の中から選べ。

ア　小野小町　　イ　在原業平　　ウ　柿本人麻呂　　エ　清原深養父　　オ　凡河内躬恒

問9　「延喜の聖主」とは古今集の編さんを命令した天皇のことである。その天皇は次のうち誰か。

ア　後醍醐天皇　　イ　天智天皇　　ウ　聖武天皇　　エ　後白河天皇　　オ　醍醐天皇

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問10　『古今和歌集』のA「真名序」の作者とB「仮名序」の作者は誰か。次の中から適切なものをそれぞれ選べ。

ア　紀貫之　　イ　紀友則　　ウ　紀淑望　　エ　凡河内躬恒　　オ　在原業平

A＝　　　　B＝

問11　「源俊頼」が撰者となった勅撰和歌集を、次の中から選べ。

ア　金葉和歌集　　イ　新古今和歌集　　ウ　風雅和歌集　　エ　文華秀麗集　　オ　山家集

問12　飛鳥井雅経(まさつね)は『新古今和歌集』の撰者の一人である。雅経以外の撰者を次の（ａ）の中から一人選べ。また、撰集の命を下した人物を次の（ｂ）の中から一人選べ。

（ａ）ア　源実朝　　イ　和泉式部　　ウ　藤原公任　　エ　藤原定家　　オ　西行

（ｂ）ア　醍醐天皇　　イ　白河上皇　　ウ　鳥羽天皇　　エ　後白河上皇　　オ　後鳥羽上皇

問13　『新古今』の撰者を次の中から一つ選べ。

ア　在原業平　　イ　大伴家持　　ウ　藤原家隆　　エ　紀貫之　　オ　西行

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14『新古今和歌集』にもっとも多くの和歌が採られた人物は誰か。次の中から選べ。

ア　後醍醐天皇　イ　西行　ウ　正徹　エ　本居宣長　オ　源実朝

問15『百人一首』の編者藤原定家が編集に関わった『新古今和歌集』は、何番目の勅撰和歌集か。数字で答えよ。

問16新古今和歌集時代の歌人でないのは次のどれか。一つ選べ。

ア　藤原定家　イ　後鳥羽院　ウ　西行　エ　鴨長明　オ　紀貫之

問17『大和物語』と内容的に重なるところの多い勅撰和歌集を、次の中から一つ選べ。

ア　万葉集　イ　後撰和歌集　ウ　新古今和歌集
エ　拾遺愚草　オ　和漢朗詠集

問18『和漢朗詠集』の撰者を次の中から選べ。

ア　藤原道長　イ　源実朝　ウ　藤原定家　エ　藤原公任

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問19　藤原定家の歌論を次の中から選べ。

ア　無名抄　　イ　歌経標式　　ウ　近代秀歌
エ　古来風体抄　　オ　文鏡秘府論

問20　西行法師と最も関係の深い作品を選べ。

ア　東海道中膝栗毛　　イ　花伝書　　ウ　山家集
エ　土佐日記　　オ　方丈記　　カ　枕草子

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　復習問題

①　次に挙げる王朝物語の中で、最も成立が遅い作品はどれか。

ア　伊勢物語　　イ　うつほ物語　　ウ　源氏物語　　エ　落窪物語　　オ　大和物語

②　「一条院の天皇の御時」の時代に最も関わりの深い作品は、次の中のどれか。

ア　万葉集　　イ　古今和歌集　　ウ　源氏物語　　エ　今昔物語集　　オ　方丈記

③　平安時代に成立していない書物を、次の中から選べ。

ア　浜松中納言物語　　イ　うつほ物語　　ウ　正徹物語　　エ　狭衣物語　　オ　夜の寝覚

④　「業平」とほぼ同時期に活躍した歌人名として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　藤原定家　　イ　清少納言　　ウ　山上憶良　　エ　源実朝　　オ　小野小町

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　模範解答

〔演習問題❶〕

問1　ウ　問2　ウ　問3　ア　問4　ウ　問5　ア　日本書紀　イ　舎人親王

〔演習問題❷〕

問1　イ・オ　問2　ウ　問3　イ・ケ　問4　ウ

問5　ニ　問6　エ　問7　ウ　問8　イ・エ

〔演習問題❸〕

問1　オ　問2　オ　問3　ア　問4　カ　問5　ア

問6　ウ　問7　①ア　②ウ　③エ　④ア

〔演習問題❹〕

問1　エ　問2　エ　問3　オ　問4　ア　問5　ウ　問6　ア

問7　イ・キ　問8　オ　問9　オ　問10　A　ウ　B　ア

問11　ア　問12　(a)エ　(b)オ　問13　ウ　問14　イ

問15　８　問16　オ　問17　イ　問18　エ　問19　ウ　問20　ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　解答解説

〔解説〕

① ア『伊勢物語』とオ『大和物語』は「歌物語」、イ『うつほ物語』とエ『落窪物語』は「伝奇（つくり）物語」で、ともに『源氏物語』よりも前の作品。よって、正解はウ。

② 一条天皇の中宮には、定子と彰子がおり、定子に仕えていたのが清少納言、彰子に仕えていたのが紫式部である。選択肢の中から考えるのであれば、紫式部が書いた作品ウ『源氏物語』が正解。

③ 今回は学習した知識を使って、消去法で考える。イ『うつほ物語』は平安中期で『源氏物語』よりも前の作品。ア『浜松中納言物語』とオ『夜の寝覚』は『源氏物語』の影響を強く受けており、菅原孝標女が作者かと考えられている平安時代の作品。エ『狭衣物語』も同じく『源氏物語』の「宇治十帖」の影響を強く受けた平安時代の作品。よって、ウ『正徹物語』（室町時代の歌論書）が正解。

④ 「業平」とは「在原業平」のこと。在原業平は六歌仙の一人。同じく「六歌仙」の一人である、オ「小野小町」が正解。

〔解答〕

①　ウ　②　ウ　③　ウ　④　オ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。